

港区 ~ 交流の歴史と未来への架け橋 ~ 舟形町

舟形町と港区の交流は令和5年に50年の節目を迎えました。今回はこれからますます発展していく港区との交流や連携の取組みを紹介します。▼問い合わせ/舟形町まちづくり課ふるさと応援推進室 ☎(32)0844



麻布地区サマースクールin舟形 (令和7年)



東麻布商店会
かかしまつり
(令和5年)



商店街と地方都市との
交流物産展 (平成21年)



児童交流 (昭和59年)



児童交流 (昭和58年)



東麻布商店会かかしまつり (平成22年)



全国交流物産展in 新橋 (令和6年)



児童交流 (昭和59年)



港区麻布地区総合支所より感謝状 (令和4年)



港区の中学生との5G遠隔交流 (令和3年)



中学生による港区麻布地区総合支所での
町PRイベント (平成30年)

港区と舟形町の 交流の歴史

はじまりは
ふるさとへの思い

港区と舟形町が交流するきっかけとなったのは、本町出身の故佐藤克己氏(最上電気株式会社初代会長 港区東麻布)の「ふるさとを持たない東京の子どもたちに自然豊かな舟形町の良さを体験させてあげたい」との思いから始まった旧飯倉小学校との児童交流でした。

飯倉小学校が閉校した現在も、東麻布商店会、東麻布街づくり協議会、麻布地区総合支所をはじめ多くの方と繋がっており、かかしまつりへの参加や舟形中学校修学旅行の一環として行われる町PRイベントなど、さまざまな形で交流が続いています。

- 昭和48年 舟形町に港区立飯倉小学校の5・6年生32名が来町
- 昭和49年 飯倉小学校と町内小学校との児童交流始まる
- 昭和61年 東麻布商店会主催のかかしまつりに参加
- 平成15年 飯倉小学校の閉校に伴い児童交流が終了
- 平成17年 東麻布街づくり協議会主催で旧飯倉小学校区域との「山形自然体験サマースクール」開始
- 平成19年 東麻布街づくり協議会と舟形町による「震災避難協定」の締結
- 平成20年 港区、舟形町、東麻布商店会、舟形町商工会(現もがみ南部商工会)による「商店街友好都市との交流に関する基本協定書」を締結
- 平成21年 「商店街と地方都市との交流物産展」へ参加(現「全国交流物産展in新橋」)
- 平成27年 「麻布地区サマースクールin舟形」開始
- 令和4年 港区麻布地区総合支所より舟形町に感謝状
- 令和5年 港区と舟形町による「港区と山形県舟形町との災害時相互協力協定書」を締結
- 令和6年 同年、舟形町において「東京都港区・舟形町交流50周年記念植樹式」を開催

下のQRコードから、港区と舟形町の交流の歴史についての映像を見ることができます。

